



# 芦生の森 上谷コース

平成26年10月21日 晴

奈良・人と自然の会 研修旅行



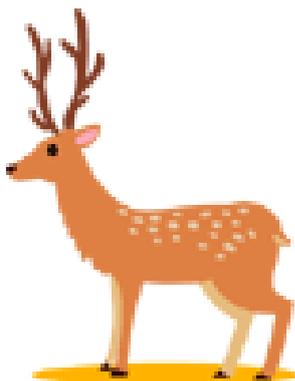
## 観察記録

トレッキング観察記

ガイド講師 京都大学芦生研究員

長野 敏 先生

これは先生のお話をメモした  
ものをまとめたものです。



## 芦生杉

芦生固有種、葉がやわらかく、下を向く。  
普通の杉は挿し木ができないが、芦生杉は簡単に挿し木が出来る。(北山杉は芦生杉、台杉になる)



### 芦生杉の伏状更新

木が大きくなると、下に方に新しい枝を出す努力をする。その枝を下に伸ばし地面につける。着いた所から根を出す。  
新枝は新しい木となって成長する。根が出たらこの枝は雪などで折れて、親木から離れる。一世紀ほどかかって芦生杉となる。  
この作業が尾根でやりやすいので、尾根筋に杉が並んでいる。



ナナカマド  
実が赤くなっていた



アキノキンソウ

## イヌカラマツ (中国のもの)



葉が短い

日本のカラマツは葉が長い

## ミズメ (アズサ、ヨグソミネバリ)



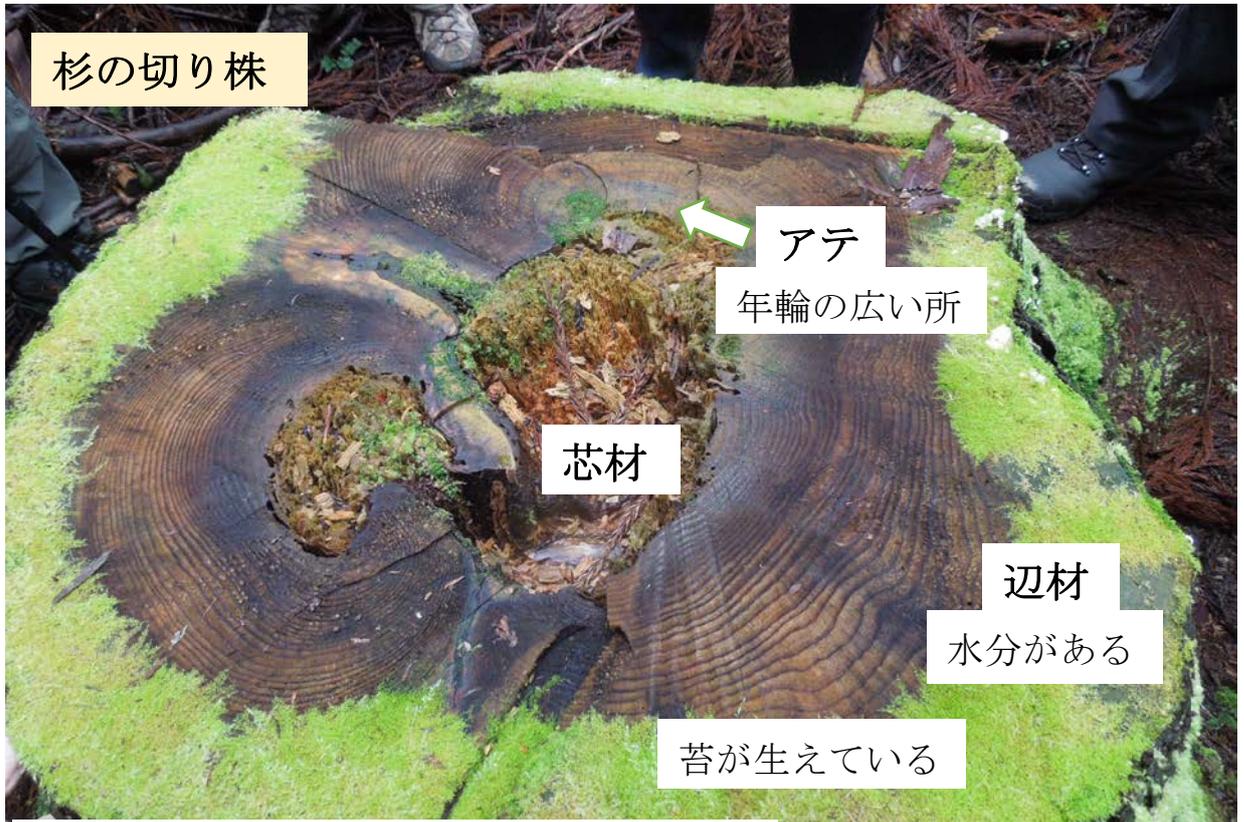
カバノキ科、陽樹  
樹皮が桜に似ているので  
ミズメザクラとも。  
サロメチールの匂いが  
する。

## コシアブラ (ゴンゼツ)

幹から油を採り (金漆—ゴンゼツ)  
金属のさび止めに使った



ツルリンドウ



杉の木は倒れ掛かると、反対側に芯を作る。  
 広葉樹は逆に、倒れかけた方に芯を作る。



熊が木の皮をはいで、  
 形成層の水をなめる。  
 この水は甘く、この  
 時期は熊の交尾期と  
 重なる。



### イワヒメワラビ



鹿が食べないので多く茂っている

## オオバアサガラの林



エゴノキ科          単種林  
鹿が食べないのでこの木ばかりの林になった

オオバアサガラの幼木  
あたり一面に生えていた



このあたりは過って一面のチシマザサの原であった。全部枯れてしまった原因はさだかでない。





オオイワカガミ



トリカブト 花と実

(キタヤマブシ)



白きのこ

このミズキは樹皮を、鹿に3回はがされた。

裏側：樹皮を再生して  
少しづつ巻き込んでいる。





## 栗の木の努力

雪で倒れた。そして立ち上がり、陽のさす方向に向かって曲り、伸びていった。  
100年近い木。



## ホオノキ

(モクレン科)

雌花が先に咲き、芳香を出す。

(3～4時間)

次に雄花が大きな花びらを開き、そこに虫を休ませて、花粉を運んでもらう。

葉は香りがよく、殺菌作用がある。

材は柔らかくしっかりしていて、まな板などに使われる。



## ヤマナラシ (ヤナギ科)

日本のポプラ。

葉柄は平たく、風が吹くと葉のみでなく、葉柄にも風を受けるので、木が揺れてよく鳴る。

森にヤマナラシの声がひびく。



サワフタギ (ハイノキ科)



又の名は  
ルリミノウシゴロシ  
枝が強く、よくしな  
って折れないので、  
牛の鼻輪に使った。  
紫色の実になる



水分の多い山なので多い

ウリハダカエデの  
秋の姿

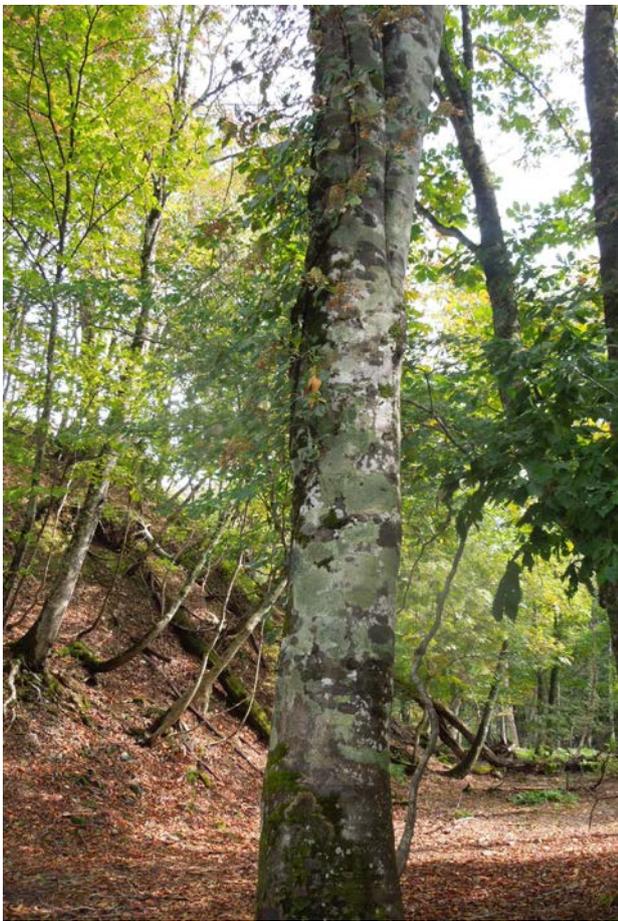


ブナの立ち枯れに出る  
ツキヨタケ  
暗い所や夜に青白く光る。  
毒きのこ



スツポンダケ





## ブナ (ブナ科)

葉がじょうご状になっていて、雨水を幹に運び、幹は根に水を運ぶ。

それが地中に流れミネラル分を含んでいく。

森から川に流れて行く。川の入口の田んぼの米が一番おいしい。

マグネシウムを多く含む。

海に流れると、植物性プランクトン、動物性プランクトンが増える。

ブリがよく捕れる。

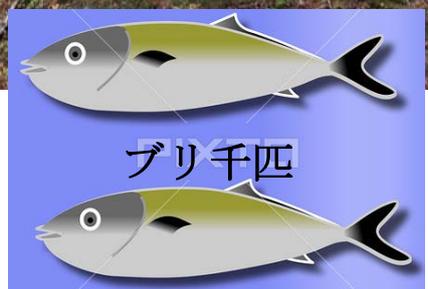
### 「ブナの木一本、ブリ千匹」

葉の先端にセンサーがあり、もっと枝を伸ばすか、成長を止めるかを決める。枝にブツブツがあるのは成長を止めたところ。

ブナは倒れてもなかなか分解しない。



ブナ林



ブリ千匹

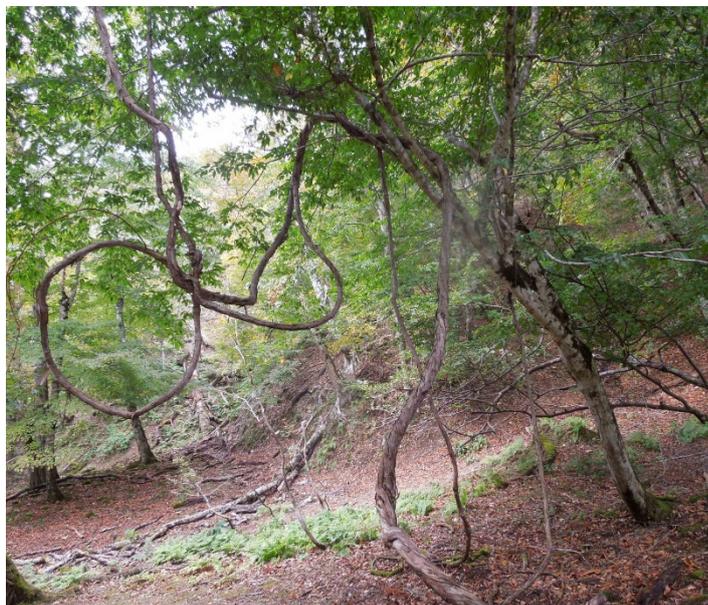
## ツルアジサイ

幹や枝から気根を出して、他の木に這い登っていく。芦生の木にツルアジサイは多い。真ん中に枯れた花の後がある。

装飾花のガク片は4枚。イワガラミの装飾花は1枚なので、区別しやすい。



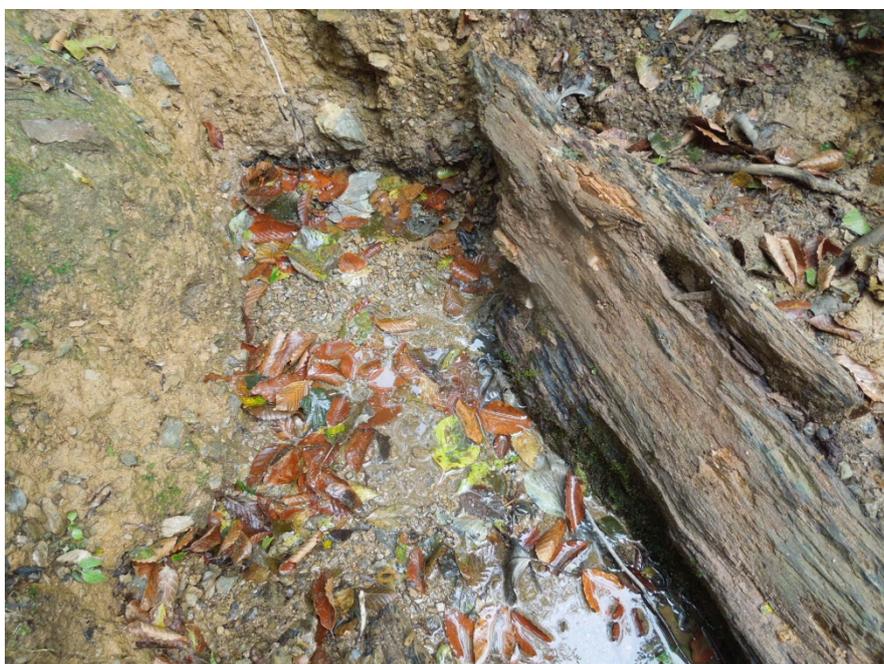
若木の時は、ほかの木に寄り添って育つ



ツルアジサイの古木  
巻き付いていた親木がなくなり、ツルアジサイの古木だけが残っている。

## 由良川の源流

由良川はこの一滴から始まる



タカハヤが生息する



サワガニ

トチノキ (トチノキ科)  
 沢沿いなどの肥沃地に生える  
 が、芦生には至る所トチノキの  
 大木が多い。  
 足元には黄葉した大きな葉が敷  
 き詰められている。



トチノキの葉

ハウノキの葉



5～9枚の小葉で  
 形成される掌状複  
 葉 (一つの葉) で、  
 葉柄は長い。対生。  
 小葉の付け根に柄  
 はない。

枝先に集まって付く  
 ので、掌状複葉のよ  
 うに見えるが、1枚  
 ずつの葉で2～4 c  
 mの葉柄がある。  
 互生。

### トチノキの樹皮の紋様

大きなウロコの紋様は、大木  
 になると樹皮が大きく割れて  
 剥がれ落ちるため。この紋様  
 は材の中にもあり、材の木目  
 が美しく光沢がある。

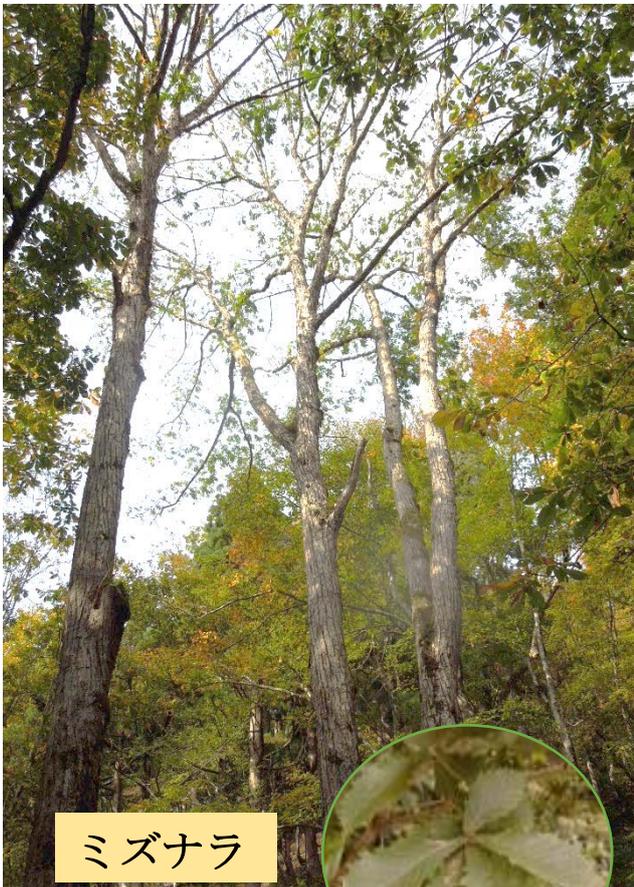
いいものは材1枚が3000  
 ～4000万円になり、それ  
 を薄く切って使う。

林業では、広葉樹を切るとす  
 ぐ水に漬ける。(新鮮さが命)

15年ぐらいで使える材にな  
 る。



両方とも大きな葉だが、ばらばらに  
 落ちている時は葉柄があるかどうかで  
 見分けることもできる。



ミズナラ



### ミズナラの倒木

形成層が薄いのでなかなか腐らない。  
苔も生えない。カシナガキクイムシ  
の好きな木。



### ハクウンボク

(エゴノキ科)



シラキの紅葉





カエデの紅葉が始まっていた  
今年は紅葉が一週間早いとのこと



ナツソバキ

幹の古い樹皮が薄片状に  
はげ落ちて大きな斑紋になる。  
木肌はなめらか。

- 芦生の固有種
- アシュウスギ
  - アシュウアザミ
  - アシュウテンナンショウ

トチノキの大きなウロ

